



【読書】キャラクター「おっほん」

札幌市立屯田北中学校

読書活動の取組

読書センターとしての機能

■ 「Go to スタンプラリー」

「動物系の本」「絵本」などとカードに指定された本を借りるとスタンプが貯まる。全てのスタンプを集めると、本が多く借りられたり、景品と交換できたり。日常の「Tポイントカード」とは平行して実施。



■ 「デリバリーボックス」

昨年に引き続き、各学級に図書館の本を配置し、月ごとにローテーション。朝読書の本を忘れたときや、普段読まない本を読む機会などに。

学習センターとしての機能

■ 2年総合「キャリア学習」

学校司書が作成した「職業調べおすすめサイトの紹介資料」や寄託図書を活用した資料を活用して、職業について調べていく学習が行われた。また、その時期に合わせて図書館前廊下に「読んで、おしごと体験！お仕事小説」コーナーを設け、職業や働く姿を描いた小説・ノンフィクションを展示した。該当の学年に関わらず手に取って読む生徒の姿が多々見られた。

■ 3年国語科「図書館の本を活用した出題」

授業の課題や単元テスト、定期テストなどにおいて本校図書館の本を積極的に活用し、紹介することで、読解力向上のためにも本を読もうとする意識を高めることを意図した。

今回のテストで取り上げた物語は…

『14歳の水平線』 柳月美智子（双葉社 2015）

夏休み、征人は息子の加奈太を誘い、故郷の島にやってきた。征人はたちまち30年前の日々に引き戻され、加奈太はキャンプに参加する。飛び込みに熱中し、ケンカで取り合い、自意識を持って、初恋に身を焦がし、友情を知り、身近な死に直面する……。思春期の少年が、心身すべてで感じたものを余すことなく描いた成長物語。（「ebook japan」内の紹介文より）



情報センターとしての機能

■ 「キャリアコーナー」

通年で取り組んでいることとして、読売中高生新聞「シゴトビト」を展示。2019年5月よりA3クリアブックでファイリングし、目次と共に展示。スプレッドシートで作成した、記事の簡易検索を図書館 classroom で公開している。



■ 「出張！新聞閲覧台」

3年生廊下に、2社の新聞を配置。図書館前の閲覧台ではあまり新聞を読まなかった3年生も、通り過ぎる際に見出しをチェックしたり、休み時間にめくってみたりする姿が多く見られた。